

大人もうなる質問続々

# 子ども議会 初開催

子どもたちの斬新なアイデアを参考にしようと2月8日(金)、町としては初の「子ども議会」を開催しました。

本物の議場を使って約2時間、中里小と薄市小合わせて15人の議員が堂々と議論を展開。傍聴した町議会議員も驚いた様子でした。

この日のために  
入念な準備

子どもたちは、本番当日まで周到な準備をしてきました。

議会事務局職員から、議会の仕組みや役割、ルール、そして一般質問の仕方を学び、代表の議員だけでなく、クラス全体で質問を考えました。

また、町議会12月定例会も傍

聴し、本物の雰囲気を感じました。

そして本番の日。緊張しながらも、全議員が立派に質問し、町政に対する疑問や意見を、町長、教育長にぶつけていました。議事を進行した議長役の2人も見事で、「町長」「教育長」と答弁者を呼ぶときや、議員に質問を許可するときも、凛とした雰囲気なたたえていました。



V  
S



小笠原議長



川浪議長

公園や広場に遊具を  
置いて



大川 一樹 議員  
(中里小6年)

〈質問〉 運動公園はすべり台などの遊具が壊れたままで、わんぱく・やまびこ広場は遊具が撤去されたり、鉄棒が曲がる、さびるなどしている。子どもが楽しく遊べるよう、修理・新設を。

〈答弁〉 小野町長

実は3年ほど前、町では遊具の総点検をした。皆さんが安全に遊ぶための点検だが、その結果、遊具を取り替えた、修理したりするために、約1億円必要ということになった。そのため町では、子どもたちの身近にある保育所や小学校などの遊具を優先して取り替えた。最近は、中で遊ぶ子が多いので、安全な小学校の遊具を使って、大いに遊んでほしい。

少子化問題への対策ど  
う考えているか？



下山 陸人 議員  
(薄市小6年)

〈質問〉 日本全体の問題として、少子化問題がある。このままだと私たちの生活に影響を及ぼす可能性がある。40年前から小学生がどのくらい減少し、また、対策はどのようにしているか知りたい。

〈答弁〉 小野町長

結婚をしない人が多くなったことや、子どもをあまり産まなくなったことなどが少子化の原因。児童数は、40年前と比較すると約5分の1と大幅に減少している。大変な問題だが、農家所得向上のための農産物加工販売施設建設や、公営住宅整備、子育て支援の給付金など、若い人が定住できる対策を行っている。今後も、夢と希望が持てるまちづくりに取り組んでいく。

犬の放し飼いは危険。  
対策を



鈴木智絵子 議員  
(中里小6年)

〈質問〉 犬の放し飼いをすると、歩行者を襲うおそれがあるとともに、フンなどが放置され大変だ。町で対策を練ってほしい。

〈答弁〉 三上環境整備課長

苦情はたびたび寄せられている。その都度現場を確認したり、役場で保護した犬は防災無線で呼びかけたりなどしている。放送で犬の放し飼いやフンの苦情に対する呼びかけをしたり、看板の設置や狂犬病予防注射時にチラシを配布するなどの対策を行っているが、苦情がなかなかなくなるのが現状だ。これからも飼い主に、犬の管理を徹底すること、フンは必ず持ち帰るといことを、粘り強く呼びかけていく。

町内にゴミ捨て小屋を  
作ってはどうか



古川 友都 議員  
(中里小6年)

〈質問〉 冬になると、雪のため外にゴミを置けない地区がある。ゴミ捨て小屋があれば、カラスに荒らされたり、風で飛ばされたりするのを防げると思う。各町内にゴミ捨て小屋を作ってほしい。

〈答弁〉 小野町長

確かに冬になると、雪で道路が狭くなって収集車が通行できなくなる。このような地区は、家から離れた場所にごみを出してもらっており、大変ご不便をお掛けしている。町ではごみ収集の冬の対策として、平成24年からごみ収集所設置を進めていて、今泉、薄市地区に7か所設置した。利用者から大変喜ばれており、来年度は、上高根、尾別、中里地区に設置する予定だ。

プールやパルナスに向  
かうバス運行を



川浪萌絵奏 議員  
(薄市小6年)

〈質問〉 私や友達は、プールやパルナスをよく利用しており、親に連れて行ってもらうが、親が仕事で忙しいときは行けなくなってしまふ。子どもたちが自由に利用できるよう、専用バスを運行してほしい。

〈答弁〉 加藤教育長

去年、小泊小から要請があったため、日時を決め、プールへの輸送手段を確保した。平成25年は10回を予定している。これを、武田小、薄市小にもできないか考えたい。スクールバスや地域連絡バスを使うことも検討したいと思う。町には、図書館や博物館など、ほかにはない光っている施設がある。これからも大いに使ってほしい。

ソフトテニス用コート  
整備を



中村 唯 議員  
(中里小6年)

〈質問〉ソフトテニスは全国大会に出場しているが、外では中里中でしか練習できない。新しくコートを作るか、硬式用である運動公園の2面のうち1面をソフトテニス用にできないか。

〈答弁〉加藤教育長

運動公園の2面は確かに硬式用。しかし、1面をソフトテニス用にするると硬式の人が困るので、1面を新たに作った方がいいかもしれない。ただ、お金のこともあるので、体協などにも意見を聞いて検討したい。中里中のテニスコートは、中学校だけのものではなく、ふれあい運動場として町民誰もが使えるもの。教委から、不便なく使えるよう中学校に話しておく。

中里団地の改修や新しい団地整備の予定は？



田中 良和 議員  
(中里小6年)

〈質問〉中里団地は、家が古いので災害に弱く、虫も出やすいので改修の予定があるか。また、団地から学校に通う道のりには、急な坂がたくさんある。新しい団地を作る予定はあるか。

〈答弁〉小野町長

中里団地は建築からだいぶ経っており、年数が経過した木造一戸建ての住宅は、改修せず倒壊の危険があるものから解体している。長屋住宅は屋根の葺き替えを行っている。中里以外にも、二夕見、薄市などに古い住宅があり、若者定住という面も考え、パルナスの東側に公営住宅建設を予定している。平成25年度に造成工事を行い、平成26〜30年にかけて60戸を建てる予定だ。

子ども読書活動計画の概要と成果示せ



谷 亜弥香 議員  
(薄市小6年)

〈質問〉町子ども読書活動推進計画の概要と成果を知りたい。読書推進は学校でも呼びかけているし、個人的に読書している子どもも多いと思う。その予算を、老人ホームや病院の建設へ使った方がいいのではないか。

〈答弁〉加藤教育長

国で法律が作られ、町では平成21年3月に計画を作ったもの。本を読むことは、知識を高め、心の教育、学力向上にもつながる。計画に掲げられている読書環境整備、大人と一緒に読む、支援活動の積極実施、0歳から本に触られるといったことを目指す。読書は生きていくための糧になるものなので、これからも本をたくさん読んでほしい。

気軽にに行けるよう書店誘致を



福士 碧 議員  
(中里小6年)

〈質問〉中里にある唯一の書店はベルだが、雑誌しかなく、本を買うには金木まで行かないといけない。大きい本屋を誘致できないか。

〈答弁〉小野町長

本を読むことは、心の栄養になること。近くで本を買う環境があれば、子どもたちにとって最適だと思う。しかし、本屋さんも商売で、成り立たなくなればやめざるを得ない。長らく出版不況の日本では、書店数の減少が激しく、このような中で新規出店は難しいと思うが、町には県内でも指折りの図書館があるので、ぜひ図書館の利用を。皆さんの希望ある未来のために、たくさん本を読んで、多くのものを吸収してほしい。

子どもが安全に通れるよう除雪を徹底して



古川 敦基 議員  
(中里小6年)

〈質問〉ベルの前や各町内の道路に雪が積もっていて歩くのに不便だ。歩道も雪が積もっているの、子どもたちが安全に通行できるように除雪を。

〈答弁〉小野町長

昨年は大雪で、通常の3倍費用がかかった。今年もすでに予算を使い果たし、2月に予算を追加した。車や歩行者が安全に通ることができるよう除雪しているつもりだが、雪が降り続けると追いつかない場合がある。ご理解いただきたい。  
〈再質問〉新たに追加とのことだが、国や県から借りたものか？  
〈答弁〉小野町長  
一般財源だ。みなさんの安全確保のために使いたい。

内潟公民館の草刈り・  
トイレ管理をきれいに



小寺 伶佳 議員  
(薄市小6年)

〈質問〉 内潟公民館の遊具に、落書きやさびているところがあり、またトイレにはガラス片が落ちていたのを友達が見かけた。安全面や衛生面で課題があると感じている。

〈答弁〉 飯塚農政課長

農村公園全体は町が管理している。草刈りはシルバー人材センターへ、トイレの管理は集落にお願いしている。遊具は平成21年に専門業者が点検しており、部分的に修理が必要と判断されたものもある。この公園は、住民に憩いの場を提供し、子どもたちの安全な遊び場を確保する目的で設置されている公園なので、安心して気持ちよく遊んでいくためにも、関係者と協議し、改善に努めていく。

紅葉坂線路下の道路は  
対策進めているか



工藤ざいり 議員  
(中里小6年)

〈質問〉 紅葉坂の線路下道路は、大雨になると通行止めになりやすい。そのほか、落書きがあったり、外灯が少なく暗かったりなどの問題があるので、対策を考えてほしい。

〈答弁〉 小野町長

紅葉坂地下道は、雨水などを排水ポンプを使って処理している。平成18年度には、排水ポンプ交換や、通行止めを知らせる電光掲示板・警告灯を設置した。排水ポンプの能力が小さいことや、周りの雨水がここに集まってくる地形などが原因で、度々通行止めになる。現在、排水ポンプなどを大きいものに改良できないか準備しているところだ。また、落書きや古くなっているところも改善していく。

大沢内ため池を町内外  
にPRしてほしい



加藤 諒介 議員  
(中里小6年)

〈質問〉 大沢内ため池は、(湧つばが)平成の名水百選に選ばれているのにあまり知られていない。看板やポスターを作り、町内外へPRしてほしい。

〈答弁〉 小野町長

名水湧きつば保存会がボランティアで、散策に訪れた人へガイドする活動や、遊歩道の清掃を行っている。また「大沢内ため池ウォーキング」を開催し、PRに努めている。看板をもっと充実させよということなので、設置することを約束する。

〈再質問〉 看板はどこに建てるのか？

〈答弁〉 小野町長

加藤議員にも、どこがいいか逆に教えてほしい。関係者と協議して場所を決めたい。

歳出一定にして安定した  
財政運営を



秋元 映輝 議員  
(薄市小6年)

〈質問〉 町の財政状況は、赤字はあまりないが、毎年度決算額が異なり、安定していないように見える。歳出額をバランスよく振り分ければ、いま必要な分野に予算を配分でき、今後の財政運営も明るくなるのではないかと。

〈答弁〉 小野町長

秋元議員のいうとおり、毎年決算額は違う。歳出を安定させればというご提案だが、全くそのとおりで、それが理想的だ。しかし、町ではいろいろな事務や事業があり、急いでやらなければならぬことや、町にとって重要なことなどが年によって違う。そのため、限られた歳入に順番を付けて事業を実施している中で、そこを理解してほしい。

落書きある中里小体育  
館の壁をきれいに



小笠原 唯 議員  
(薄市小6年)

〈質問〉 体育館の壁の前から落書きやキズがあり、そのせいで新しい落書きが増えやすい状態である。一度壁をきれいにすれば、みんな大切にするとと思うので、壁を修理してほしい。

〈答弁〉 加藤教育長

学校でも問題になっていると思う。中里小体育館は、木材で建てられたものだが、コンクリートであればペンキを塗るなどして簡単に消せる。しかし、中里小の場合は木造なので簡単にはできないと思うが、まずは現場を確認したい。落書きの中には、児童にとってよくない落書きがあるというので、校長と相談し対処したい。もうしばらく待つてほしい。